

受動喫煙防止に向けた 条例制定の議論を開始

桑名駅周辺を路上喫煙禁止区域に設定

6月には市民の皆様からパブリックコメントを募集

受動喫煙は、喫煙者本人ではなく、その周囲の人々が本人の意志とは関係なく、タバコの煙を吸い込んでしまうことで「強制喫煙」や「不随意喫煙」といわれることもあります。

タバコの煙は、喫煙者自身が直接吸い込む「主流煙」と火をつけたタバコの先端から立ち上る「副流煙」、喫煙者が鼻や口から吐き出す「呼出煙」に分かれます。

市議会では、市が平成16年8月に桑名市民病院あり方検討委員会から「400床前後の二次医療自己完結型の急性期病院の答申を受けた後、平成21年3月に地域医療対策特別委員会を設置いたしました。

平成22年9月に「山本総合病院との再編統合に向けた協議再開と調査研究」を求めた特別委員会報告がされ、「桑名市民病院の再編統合と地域医療の充実に関する決議」を議員提出議案として可決いたしました。

平成24年2月末には、新病院の整備等に関する特別委員会を設置し、三重大学医学部附属病院の視察や定期

煙と呼出煙が拡散し混合して発生する有害物質により、がんや脳卒中、急性心筋梗塞、動脈硬化などさまざまな病気のリスクが高まり、妊婦や胎児にも悪影響を及ぼすという調査結果が報告されています。また平成28年版「たばこ白書」では、受動喫煙による年間死亡者数は、約1万5千人、受動喫煙のある人は、ない人に比べて肺がんリスクが約1.3倍になるとも指摘されていて、近年、受動喫煙は、社会全体で取り組むべき問題として認識されています。また、平成27年6月には、労働安全衛生法が改正され、職場での受動喫煙防止に向けた企業の努力義務が明記されています。

しかし、世界的には、日本の受動喫煙対策はまだ遅れており、WHO（世界保健機関）のレポートではタバコ対策後進国と指摘されているのが実情です。

このような中、現在、桑名市議会では、市民の皆さんの受動喫煙による健康被害を未然に防止し、健康の確保を図ることを目的に桑名市議会では初となる議員提出政策案として受動喫煙防止に向けた条例の制定を目指し、議会改革推進特別委員会での検討・協議を重ねています。また、条例制定にあ

たっては、市民の皆さんのご意見を反映することを目的にパブリックコメントの実施を予定しており、併せて6月8日の議会報告会においてもご意見を頂戴したいと考えています。

今後桑名市議会では、受動喫煙防止対策に限らず、市民の皆さんの生活及び福祉の向上に寄与するために、積極的に政策の提言を行ってまいります。

桑名市総合医療センター完成 医師数120名に

1月23日の全員協議会で、桑名駅自由通路整備事業費の市の負担が、45・0億円から66・7億円に増加することが報告されました。負担増となった理由は、この整備事業において、国との補助対象の協議を行っていましたが、最終的に自由通路本体以外の橋上駅舎部分の整備に關しては、大部分が街路事業の補助の対象とならなことが決まったためとのことです。

【事業の進捗状況について】
駅東側は詳細設計を進めつつ、工事ヤードの整備を行っています。平成30年度中頃から本格的な整備を行うべく、平成30年度は既存ホールディングの改修を行う予定です。
【市の負担増の理由について】
橋上駅舎化については、平成32年度から平成34年度の各年度において広域清掃事業組合への繰り出しの減額が見込まれることや、財政調整基金等の活用で見通しを立てています。

【今後の対応は？】
自由通路に関しては、国、県とこれまで以上に密に協議を重ねながら確実に進めていくとともに、それぞれの事業については国からの十分な支援を得られるように要望等を行ってまいります。

【議会へのリスクの周知はしていたのか？】
このような負担増のリスクがあることを議会には伝えていました。

【今後の対応は？】
自由通路に関しては、国、県とこれまで以上に密に協議を重ねながら確実に進めていくとともに、それぞれの事業については国からの十分な支援を得られるように要望等を行ってまいります。



桑名市総合医療センターの病室の様子。医師数120名に増え、設備も充実しています。

くわな市議会だより

平成30年6月1日号 第23号
発行日 平成30年6月1日

多度地区小中一貫校 多機能複合施設 設置場所は白紙・アンケート凍結・スケジュール見直し

3月定例会では、市の重点施策として位置づける「多度地区小中一貫校多機能複合施設整備を含む「貫教育の内容（「福祉ヴィレッジ」について本会議・予算特別委員会で、次の議論を経て附帯意見を可決いたしました。

【小中一貫教育】
本会議では、「多度地区小中一貫校多機能複合施設」について住民説明会での意見やアンケート等を受け、「市は既成事実化しようとしていない」、「小中連携教育や既設小学校統合での対応を求める」、「市が計画するワークショップに参加すればその団体・参加者は計画を認めたことになり責任を負う」、「費否は別として市のスケジュールでは会議後に団体の意見集約を図る時間もない」、「計画そのものは是非」等を指摘する質問がされました。

これに対し市当局より「多度中学校、多度小学校、多度町総合支所の場所は白紙にする」等の答弁がされました。

この事業について教育福祉分科会では「ワークショップのアドバイザーについては中立的な立場の方を選任する」、「予定された見直しアンケート調査は凍結し、スケジュールは見直す」との答弁

また、2020年度から実施予定の小中一貫教育に対し「地域への説明不足」、「教職員への負担増」等を指摘する質問がされました。

この結果、これらの2事業に対し教育福祉分科会では「議会に対する説明と協定の答弁がされました。」

からは「まず運営業者を選定し、その後建設業者と契約し整備を行うと思われる」との答弁がされました。

福祉ヴィレッジ

本会議では、江場地区の「山崎乳児保育所、療育センター、清風園、山崎苑」を「多世代共生型施設・福祉ヴィレッジ」として「伝馬公園」に転移する計画に対し、「敷地面積減による駐車場等の不足」、「公園内の埋蔵文化財の問題」、「開所後の音の問題」、「民設・民営の是非」等について指摘する質問がされました。これに対し「地域住民・関係者への説明会の開催や丁寧な対応を行う」等の答弁がされました。

3月定例会新年度予算審議

平成30年度桑名市一般特別企業会計当初予算について「財政健全化の推進」、「重点施策への投資の集中」、「成長し続ける桑名の礎を築く」と提案説明がされました。

市議会では予算特別委員会及び3常任委員会を単位とする分科会を設置し、新年度当初予算の審議を行いました。

【総務安全分科会】
「ポルトガル語通訳や市民にとって不可欠な予算等の削減」

【教育福祉分科会】
「小中一貫教育で強引に学校の統廃合を推進している」、「指定管理者制度・学校



多機能複合施設の設置予定地。伝馬公園の敷地内です。

桑名駅自由通路整備事業費の市の負担が21.7億円増に

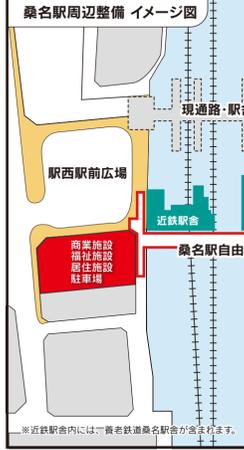
1月23日の全員協議会で、桑名駅自由通路整備事業費の市の負担が、45・0億円から66・7億円に増加することが報告されました。負担増となった理由は、この整備事業において、国との補助対象の協議を行っていましたが、最終的に自由通路本体以外の橋上駅舎部分の整備に關しては、大部分が街路事業の補助の対象とならなことが決まったためとのことです。

【事業の進捗状況について】
駅東側は詳細設計を進めつつ、工事ヤードの整備を行っています。平成30年度中頃から本格的な整備を行うべく、平成30年度は既存ホールディングの改修を行う予定です。
【市の負担増の理由について】
橋上駅舎化については、平成32年度から平成34年度の各年度において広域清掃事業組合への繰り出しの減額が見込まれることや、財政調整基金等の活用で見通しを立てています。

【今後の対応は？】
自由通路に関しては、国、県とこれまで以上に密に協議を重ねながら確実に進めていくとともに、それぞれの事業については国からの十分な支援を得られるように要望等を行ってまいります。

【議会へのリスクの周知はしていたのか？】
このような負担増のリスクがあることを議会には伝えていました。

【今後の対応は？】
自由通路に関しては、国、県とこれまで以上に密に協議を重ねながら確実に進めていくとともに、それぞれの事業については国からの十分な支援を得られるように要望等を行ってまいります。



施設位置は想定。近鉄駅舎内には「盲者鉄道桑名駅舎」が設置されます。

今後の予定、土地利用構想イメージも示されました。

3月本会議ではこの件に関して議員から様々な質問や提案がなされました。主なものとしては、次のものです。
①完成後のグランドデザインについて、「公民連携の事業手法について」、「駅西土地区画整理事業との関連性」、「コンパクトシティなど、

全員協議会では桑名駅周辺開発の進捗状況の報告や、

新年度予算の主な事業

●新病院整備事業費（13億4581万円）4月開院の新病院の医療機器充実と既存病院棟改修に向けた整備。

●中心市街地整備事業費（57億7675万円）桑名駅自由通路、橋上駅舎化、駅東駅前広場整備、再編、駅周辺複合施設等整備事業の準備。駅西土地区画整理事業の推進を図るため建物等移転補償、道路整備工事を実施する。

●有害鳥獣対策事業費（2629万円）地域と協働して捕獲駆除及び追い払い。

●一般会計歳出目的別



給食民間委託」等の理由により反対。賛成とするが「行政組織内で執行部に対し意見が言えるような中で、の事業推進と市民生活向上」、「福祉ヴィレッジについては関係者・議会に対し丁寧な説明」、「学校再編の長期的な計画」等を求める意見が出されました。

【都市経済分科会】
「桑名駅西土地区画整理事業」、「道路施設維持補修費の削減」、「市民農園の廃止に伴う返還経費」等の理由により反対。賛成としつつも「道路施設維持補修費・交通

【本会議最終日(3/28)】
「外国語通訳人件費の削減はか市民生活に影響する自由通路の市負担2億7千万円が打ち出の小槌のように出てくるとの副市長の説明は納得できない」、「地方税管理回収機構・小中一貫マイナンバーカード関連予算ほか市民目録ではない」、「公民館のコミニティセンター化、小学校を統廃合する小中一貫関連予算は納得できない」ため反対。「交通結節点としての機能強化を図る桑名駅周辺整備関連や」デジタル環境系防災行政無線などと同レベルでできるため賛成としました。

以上の討論がされた後、「福祉ヴィレッジ」、「小中一貫教育」の2事業に対し附帯意見を付け、賛成多数で当初予算は可決されました。

広報広聴委員会

委員長 辻内裕也
副委員長 畑紀子
委員 眞満逸郎、中村浩三、満仲正次、愛敬重之、市野善隆、星野公平

傍聴してみませんか

本会議や各常任委員会、特別委員会などの会議は傍聴できます。日程は市議会のホームページに掲載しています。ただし、日時が変更になる場合がありますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局にご確認のうえ、お気軽にお越しください。

皆様のご意見をお寄せください!

市議会や市議会だよりに対するご意見、ご要望等がございましたら、右記までお寄せください。

表決結果等の市議会の詳しい情報は桑名市議会のホームページをご覧ください。